

5市町村が一つになって歩んだ15年を振り返る

合併検証報告書を公表します

平成18年2月20日に、水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川村の2市2町1村が合併し、奥州市が誕生しました。合併から15年が経過し、大きな節目を迎えたことから、さまざまな項目について合併検証を行いましたので、その概要をお知らせします。

■問い合わせ 本庁政策企画課統計係（☎34-2127）



検証を行った経緯

今回の合併検証は、合併から15年が経過したことや、第2次総合計画後期基本計画を本年度に策定することが契機となつて行ったものです。各種統計データや市民アンケートを基に、合併以来、市が進めてきた施策などについて総合的・客観的に検証しました。明らかにになった合併の効果や課題は、「奥州市合併検証報告書」に取りまとめています。

合併検証の視点

合併の際には、合併前の各地域の実状を踏まえ、新市建設計画で「合併の

必要性」を設定し、次の五つの項目を掲げました。

【合併の必要性5項目】

- ①急速に進む少子高齢社会への対応
- ②高度化・多様化する住民ニーズへの対応
- ③生活圏拡大に伴う広域的な行政需要への対応
- ④自主・自立を支える地方主権拡充への対応
- ⑤安定した自治体運営を可能とする行財政基盤強化への対応

報告書では、住民に直接関わるのあり分野を中心に、市の概況や行政サービスの状況について、合併時と現状の

比較や合併後の15年間の推移を客観的なデータを示して検証。5月には市民アンケートを実施して、合併に対する市民の意識も把握しました。それらの結果を基に、「合併の必要性」で掲げた五つの項目を合併検証の視点とし、各項目に沿って対応と経過、合併後に改善が図られた市民サービスなどや改善を図るべきまちづくりの課題について整理しています。

市民からの意見聴取

市民の声を検証に反映させるため、市民アンケートに自由記載欄を設けて合併に対する評価、今後の奥州市に対するご意見、ご要望などをいただきました。

した。また、市議会議員や総合計画審議会委員からも、意見や提言などをお聴きする機会を設けて検証作業を進めました。

さらに、10月上旬に開催した市政懇談会で検証結果の報告を行うとともに、市民の皆さんからご意見をいただいています。

報告書の構成

報告書は、本編9章と資料編5章で構成されています。

◆本編

- I はじめに
- II 本市の概況

- III 合併調整事項の検証
- IV 住民自治の推進と官民連携によるまちづくり

- V 市町村合併を活かした主な取組
- VI 行財政基盤の検証
- VII 市民負担や行政サービスの变化
- VIII 市民アンケート調査の結果
- IX 検証のまとめ

◆資料編

- i 合併協定項目の調整状況
- ii 新市建設計画整備基金を活用した事業（全体）
- iii 新市建設計画における財政計画と決算額の比較（乖離額と要因分析）
- iv 市民アンケート調査の結果（全体）

V 総合計画審議会委員からの合併検証に関する意見など

主な成果と課題

各種統計データや市民アンケートなどを基に検証し、明らかとなった成果や課題の主なものは左欄のとおりです。市では、今回の検証結果を踏まえ、今後の市政運営やさまざまな施策に生かしていきます。市民と行政の情報共有や相互理解を深めながら、市民参画によるまちづくりを進め、市が目指すべき都市像に掲げる「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち 奥州市」の実現を目指していきます。

合併後に改善された主な市民サービスなど

- 低廉な保育料基準、第三子以降保育料の無償化など子育て支援制度の充実
- 市民参画による協働のまちづくりの推進
- 地域活動の支援、地区センターの設置などによる地域活動の活性化
- 学校をはじめ各種施設の新設、修繕
- 合併特例債※¹などの活用による道路や上下水道など生活基盤となるライフラインの整備、光ネットや携帯電話エリア拡大など情報通信基盤の整備
- 議員定数、職員削減による組織のスリム化
- 行財政改革の実施とそれに伴う財源確保、財政力の向上と地方債残高の大幅な削減



※¹ 合併自治体が事業のために借りられる有利な地方債

今後改善が必要な主な課題

- 中山間地域を中心に進む人口減少、若年層の流出、20～30代前半の女性の人口減少
- 子育て環境や周産期医療、市立病院の在り方など医療体制の確立
- 公共施設の老朽化、計画的統廃合や改修
- 農業の担い手の確保、経営体強化のための基盤整備
- 商店街の魅力とにぎわい
- 公共交通機関の在り方、利便性
- 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)※¹の推進、情報通信環境の整備



- 人口減少による地域コミュニティへの対応
- 財政運営上懸念される財政調整基金※²の取り崩し、経常収支比率※³の上昇

※¹ デジタル技術を活用した行政サービスの改革

※² 財源の不足に備えるために積み立てる基金

※³ 財政構造の弾力性を表す指標。財源の余裕を示すもの

報告書の内容はこちらから

報告書の詳しい内容は、市ホームページで公開しています。以下のQRコードを読み込むと簡単にアクセスできますので、こちらからご覧ください。

▼本編



▼資料編



▼概要版



合併協定調印式に参加した首長や議員たちの集合写真

